

比較地域経済史特論

専門 選択 2単位

乗川 聡

1. 授業の概要(ねらい)

- ・「比較地域経済史特論」では、「経済史概論I・II」(学部課程)で学んだ「資本主義の普遍性と多様性」を、地域経済史の視点からさらに深く学びます。
- ・授業形式は講義を中心としますが、大学院生に必要とされるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の向上を目指し、合計3回、復習テストとグループによるディスカッションを実施します。
- ・この授業では、DP1およびDP2に関する知識、技能、態度を習得します。

2. 授業の到達目標

- ・当講義では、主に西洋諸国の地域経済史を比較することにより、以下の授業目標の達成を目指します。
- 1.「資本主義の普遍性」、すなわち「市場経済システム」の基本構造を理解する。
- 2.「資本主義の多様性」、すなわち各国(特に英、独、仏)の資本主義の違いを歴史的視点から理解する。
- 3.グローバル化する資本主義における「多様性」の意義について考える。

3. 成績評価の方法および基準

- ・グループ学習(25%)、テスト(25%)、レポート(50%)で評価します。
- ・テストおよびレポートのフィードバックは回収・採点后ただちに受講者に対しメールまたは口頭で実施します。

4. 教科書・参考文献

教科書

- ・原則としてプリントを配布しますが、必要に応じてテキストも指定します。

5. 準備学習の内容

- ・歴史の授業は現状との比較によって理解が深まりますので、新聞・テレビ・インターネット等で毎日ニュースを見る習慣を身に付けてください(1日10分以上)。
- ・毎回実施する小テストの予習として、開講時に配布する政治・経済用語集(英語)とヨーロッパ地図を暗記してください(30分以上)。
- ・グループ学習の際に実施する復習テストの準備として、試験範囲のレジュメの内容を必ず確認・暗記してください(2時間以上)。
- ・グループ学習の前週にディスカッション(=レポート)の課題を発表するので、充実した議論ができるよう情報収集・論点整理をしてください(2時間以上)。具体的には、事前にメモを作成したうえでディスカッションに臨むことを推奨します。
- ・レポート作成に際しては、レジュメ、教員による講義、そしてディスカッションの内容を必ず反映させてください。

6. その他履修上の注意事項

- ・この授業は学部課程の西洋経済史関連科目を受講していることを前提とします。
- ・上記科目を未履修の学生に対し、聴講を指示する場合があります。
- ・この授業を通じて、受講生の皆さんが多様な価値観を理解し、それを受け入れる寛容な態度を身に付けられることを期待します。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス |
| 【第2回】 | 市場経済システム |
| 【第3回】 | 資本主義の多様性 |
| 【第4回】 | 復習とグループ学習(1) |
| 【第5回】 | 国民経済と地域経済の特質(1):イギリス |
| 【第6回】 | 国民経済と地域経済の特質(2):ドイツ |
| 【第7回】 | 国民経済と地域経済の特質(3):フランス |
| 【第8回】 | 欧州統合と地域経済 |
| 【第9回】 | 復習とグループ学習(2) |
| 【第10回】 | ケーススタディ(1):イギリス |
| 【第11回】 | ケーススタディ(2):ドイツ |
| 【第12回】 | ケーススタディ(3):フランス |
| 【第13回】 | ケーススタディ(4):その他 |
| 【第14回】 | 復習とグループ学習(3) |
| 【第15回】 | 総括 |